

【レスリング】 世界選手権

《世界カデット選手権》

7月29日から8月4日までソフィア(ブルガリア)で世界カデットレスリング選手権大会が開催され、尾崎さんが金メダルを獲得し、二連覇を果たしました。

女子61kg級に出場した尾崎さんは、1回戦から決勝までの4試合、全て第1ピリオドテクニカルフォール勝ちという圧倒的な強さで金メダルを獲得しました。全試合を通じて1ポイントの失点も相手に与えず、平均試合時間は45秒という圧勝で、“連覇”の目標を達成しました。



【二連覇を果たした尾崎さん
(レスリング協会HPより)】

《世界ジュニア選手権》



【金メダルを獲得した鏡さん
(レスリング協会HPより)】

8月12日から18日までタリン(エストニア)で世界ジュニアレスリング選手権大会が開催され、鏡さんが女子72kg級で金メダルを獲得しました。

鏡さんにとって初めてとなるジュニア世界選手権ですが、「課題はたくさんありましたが、優勝できたのは良かった。(決勝は最後に逆転)気持ちの勝負だったと思います。

タックルに入って取り切れ、グラウンドへつなげる得意のパターンが出せました。(シニアのアジア選手権を制しているが)シニアでは追う側で、ある意味で気持ちは楽。今回は同世代の大会なので、気持ちの面で躊躇した面がありました。72kg級はこれが最後。全日本選手権は76kg級で優勝目指します」とコメントしています。

また、今大会には阿部君(国士舘大)、須崎さん(早稲田大)、南條さん(至学館大)の3名の修了生も出場し、金メダルを獲得しました。

この結果、レスリングは男女とも全ての世界選手権(カデット・ジュニア・シニア)で優勝を果たしました。コーチを中心にして、チーム一丸となって世界を目指した結果であり、エリートアカデミーにとっても大きな成果です。

【アーチェリー】 世界ユース選手権

世界ユースアーチェリー選手権大会が8月20日から25日まで、マドリード(スペイン)で開催され、園田さん、渡邊さん、伊藤君が日本代表チームとして出場し、園田さんが日本人として初めて個人種目でメダルを獲得しました。また、園田さんと伊藤君ペアがミックス団体に、銅メダルを獲得しました。

一方、女子団体では、園田さんと渡邊さんがチームの一員として出場し、4位入賞を果たしました。

園田さんは、個人予選ラウンドを全体の8位で通過し、2回戦からの出場となりました。2回戦は硬さが見られましたが、その後は相手に得点を与えず、準決勝に進出。準決勝は、予選1位の選手との対戦となり、2回のシュートオフの結果、決勝進出を決めました。決勝は初回からリードを奪われ苦しい展開となり、3対7で敗れましたが、個人銀メダルを獲得しました。

ミックス団体は予選ラウンドの上位者で生まれ、園田さんと伊藤君が出場し、個人予選ラウンドの結果、1回戦は免除され、2回戦からの出場となりました。2回戦から準決勝までは順当に勝ち上がり、決勝進出をかけて韓国と対戦となりました。最初はリードしていましたが追いつかれ、シュートオフの結果、4対5で惜敗しました。しかし、3位決定戦は、気持ちを切り替え、インドをストレートで下して銅メダルを獲得しました。

この経験を糧に、次の世界の舞台では、緊張感がある中でも実力を発揮し、メダル獲得ができるように期待しています。



【ミックス団体に銅メダルを獲得した園田さん、伊藤君ペア】

【卓球】 ジュニアアサーキット

ITTFジュニアサーキット香港オープンが8月7日から11日まで、香港のQueen Elizabeth Stadiumで開催され、小塩さんがジュニアシングルスと団体、カデットダブルスの3種目で優勝を果たしました。



【日本卓球協会HPより】

女子シングルス、予選リーグは1ゲームも失うことなく全勝で突破し、決勝リーグに入っても準決勝までの4試合すべて4対1で勝利しました。韓国選手との決勝こそ、最終ゲームまでもつれる試合となりましたが、4対3で勝利し、国際大会でのシングルス初優勝を飾りました。

女子ダブルスは、張本さん(木下グループ)とのペアで出場し、決勝まで5試合で1ゲームも失うことなく圧勝し、優勝を果たしました。女子団体でも安定した力を発揮し、日本チームの優勝に貢献しました。今後は、一つ上のランクの大会での活躍が期待されます。

【その他】

全国中学校体育大会

全国中学校体育大会(全中)『第50回全国中学校卓球大会』が8月20日から23日まで、天津市(滋賀県)で開催され、女子シングルスで小塩さんが優勝を果たしました。

114名が出場し、小塩さんは第2シードとなり2回戦から出場し、準決勝までの4試合は、殆ど3対0というスコアで勝利し、準決勝に進出。準決勝も3対1で勝利し、決勝も同じく3対1のスコアで優勝を飾りました。

昨年の大会は、2位に終わり悔しい思いをしましたが、その苦い経験を活かし優勝を果たすことができたのは大きな成果です。

【ボート】

世界ボートジュニア選手権大会

世界ボートジュニア選手権大会が、8月7日から11日まで海の森水上競技場(東京)で開催されました。この大会は1年後に迫った東京オリンピックのテストイベントを兼ねて行われた大会であり、エリートアカデミーからは青木君、中條君、松田さん、上野さんの4名が日本代表として出場しました。

【大会結果】

- ・男子クオドルプスカル 青木 14位
- ・男子ダブルスカル 中條 23位
- ・女子クオドルプスカル 松田 13位
- ・女子シングルスカル 上野 15位

《上野さん感想》

「私は、世界ボートジュニア選手権に初出場しました。今回の大会で精神面は成長出来ましたが、トップ選手との漕ぎの差も実感しました。トップ選手は、風・波があってもダイナミックな漕ぎをしていました。これからの練習ではダイナミックな漕ぎを身につけて、スタートから攻めた漕ぎができるように極めていきます。そして、これからの大会で練習の成果をしっかりと確認し、来年の世界ボートジュニア選手権で結果を残します。」



【その他】

インターハイ

「響かせろ、我らの魂、南の空へ」をスローガンに、は南部九州4県(鹿児島県・熊本県・宮崎県・沖縄県)で開催された令和元年度高等学校総合体育大会(インターハイ)に3競技11名のアカデミー生が出場しました。主な成績は、次のとおりです。

【レスリング】※アカデミーだより8月号にも掲載

- ・男子71kg級 佐藤 優勝 ※二連覇
- ・男子60kg級 高橋 3位
- ・女子50kg級 坂本 3位
- ・女子74kg級 鏡 優勝 ※三連覇

【水泳／飛込】

- ・男子3m板飛込 遠藤 3位
- ・女子高飛込 安田 2位
- ・女子3m板飛込 安田 優勝

【アーチェリー】

- ・女子個人 渡邊 優勝

《渡邊さん感想》

「私は、自分に勝つという気持ちでインターハイに臨みました。3回戦までは、緊張や不安、スコアが出ない自分の焦りなどがあり、自分に負けてしまいそうな時が何度もありましたが、射ったら当たると自分に言い聞かせて準々決勝からは自分のペースを取り戻すことが出来ました。今回の経験を活かし世界という大きな舞台でも自分らしくプレーしていきたいと思いました。また、新アーチェリー場ができ、とても素晴らしい環境で練習できることに感謝してもっと強くなりたいです。」

公益財団法人 日本オリンピック委員会
JOCエリートアカデミー事業
〒115-0056 東京都北区西が丘3-15-1
味の素ナショナルトレーニングセンター
TEL:03(5963)0355/FAX:03(5963)0356

JOCエリートアカデミーだよりは以下のHPでもご覧いただけます。
<http://www.joc.or.jp/training/ntc/eliteacademy>